



西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～ よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進 ～

《 学 校 教 育 目 標 》

- 一夢がわき 心もはずむ 西小の子ー
- ・素直で心豊かな子
- ・進んでくり返し学習する子
- ・ねばり強くたくましい子



「あいさつ」は、たった1秒の魔法の言葉

校 長 竹谷 浩一

「おはようございます！」 「こんにちは！」 「さようなら！」

どれもたった1秒程の短い言葉です。地域の方同士が、地域の方と保護者が、地域の方と子どもが、先生と子どもが、先生と保護者が、先生同士が、保護者同士が、子ども同士が……。西浦和小学校とその周りでは今日もたくさんのあいさつが飛び交っていることでしょう。

本来、「あいさつ」は家庭での躰ですが、いつの時代も多く为学校が指導の重点に掲げ、年間を通じて様々に工夫した取組を行っています。

これまでに私がいろいろな学校で経験した取組としては、

- 口月の生活目標「進んであいさつをしましょう」(校内掲示)
- 「のぼり」や「たすき」等のあいさつグッズの活用(児童主体)
- 朝のあいさつ運動(児童会・代表委員会)
- 小・中合同あいさつ運動(コラボ企画)
- あいさつスタンプラリー(ポイント獲得)



等があります。どれも十分に効果が期待できる素晴らしい取組ばかりです。

しかしながら、こうした取組を実施しても「あいさつのできる子が少ない。」「あいさつができる子に育ってほしい。」等の御意見を方々からいただきます。その度に学校は、「どうすれば子どもたちのあいさつパワーがアップするか。」について議論と試行錯誤を繰り返します。

本校では、これといって特別な「あいさつ」の指導はしていません。それなのに、本校の児童の多くは何故こんなにも「あいさつ」できるのでしょうか。それはきっと、これまで本校に携わった教職員、本校を巣立っていった子どもたちとその保護者の皆さん、今本校に通っている子どもたちとその保護者の皆さん、そして地域の方々が築き上げてきた文化なのだと思います。これからもずっと地域全体で大切に守って行ってほしいです。さて、ここで「あいさつ」の由来を紹介します。

* 挨拶(あいさつ)の「挨(あい)」は、(押し開く、互いに心を開いて近づく)という意味

「拶(さつ)」は、(迫る、すり寄る)という意味

つまり(あいさつ)は、「お互いの心を開いて、相手の心に近づいていく」という意味になります。

「挨拶(あいさつ)」には、こんなに素敵な意味があるのですね。言葉のもつ意味をしっかり理解して、もっともっと「あいさつ」の輪が西浦和小学校に広がってくれることを期待しています。

たった1秒でお互いの心を開いて、相手の心に近づける「あいさつ」は魔法の言葉だと思います。特別なおまじないは必要ありません。その人の気持ち一つで誰でも使える簡単な魔法です。まだ使っていない人は、使わないともったいないと思いませんか？私は、4月22日(火)のお話朝会で、「あいさつ」のもつ素晴らしさについて簡単に触れました。保護者の皆さん、地域の皆さんも子どもにあいさつの大切さを教える時の参考にしてみたいはいかがでしょうか。

校長のつぶやき

4月11日(金)には6年、14日(月)には1, 3, 4年、15日(火)には2, 5年、かがやき学級の授業参観・懇談会を実施しました。どの学年・学級も大勢の保護者の皆さんに参加していただき、とても嬉しかったです。今回参加できなかった保護者の皆さん、次回はぜひ、お子さんの様子や担任の指導をご覧になってください。次回は2月に実施予定です。

ところで、学級担任による経営方針のアピールや意気込みはいかがでしたでしょうか。教職員と保護者の皆さんが連携し、もっともっと素晴らしい西浦和小学校にしていきたいですね。